

令和4年度の十二天の森を守る会の活動が4月29日の総会からスタートしました。

ここ数年は新型コロナウイルス感染による影響で活動が制約される中でも対策に気を配りながら、出来ることから取り組みを積み上げてきましたが今年度は少しでも前に進むように願っています。

規約改正では、名称を「福岡区十二天の森を守る会」から、福岡区をはずして市全体での活動にさらに広げていくことにしました。

駒ヶ根市教育委員会から、活用事業で活用検討委員会（仮称）設立について検討しますと説明され、会員からも森の在り方や活用について活発な意見交換ができました。



十二天の森 道路沿い環境整備作業実施

6月12日に33人が参加して森周辺道路沿い環境整備作業を実施しました。前日までの雨も上がり周辺



(草刈後の森の入口付近)

の草刈りを約1時間半行いました。

森も爽やかに気持ちよさそうでした。

遊歩道のチップ作業はぬかるんでいたため次回に持ち越しました。



(作業開始の打合せ)

注目される十二天の森を守る会の活動

★環境整備作業の様子を長野日報が取材に来ていただいて記事に掲載されました。

左の写真は女性記者さんが作業の様子を撮影しているところです。

会の活動についてもインタビューされ紹介されました。



★上伊那郷土研究会発行の月刊郷土誌「伊那路」6月号に「十二天の森を守る会」の活動が紹介され掲載されています。

6月号は自然・森林を特集して原稿を寄せてもらえないかと十二天の森を守る会に要請がありまして、会の経験をまとめてある文章があり現在の活動まで合わせて寄稿しました。10冊ほど取り寄せていますのでご希望の方は会長まで連絡ください。

森の木を伐採した枯れ損木等の活用や処理にご協力ください。

十二天の森には支障木を伐採した大木から、枯れ損木などが処理しきれずに放置されている状況にあります。焚き木などに活用できるものもあります。

森の環境整備のためにも処理に協力いただける方はお願いします。

守る会の倉庫にはチェーンソーなどありますので使用していただいで、協力をお願いいたします。